

第10回 八戸市生活支援体制整備推進協議会

令和2年1月16日(木) 14時00分～
八戸市庁別館 2階 会議室B

次第

1 開会

2 報告案件

案件 地区ワークショップの実施状況について

3 審議案件

案件 地域密着ワークショップの実施状況及び評価について

4 その他

ワークショップ等で挙げたニーズへの対応について

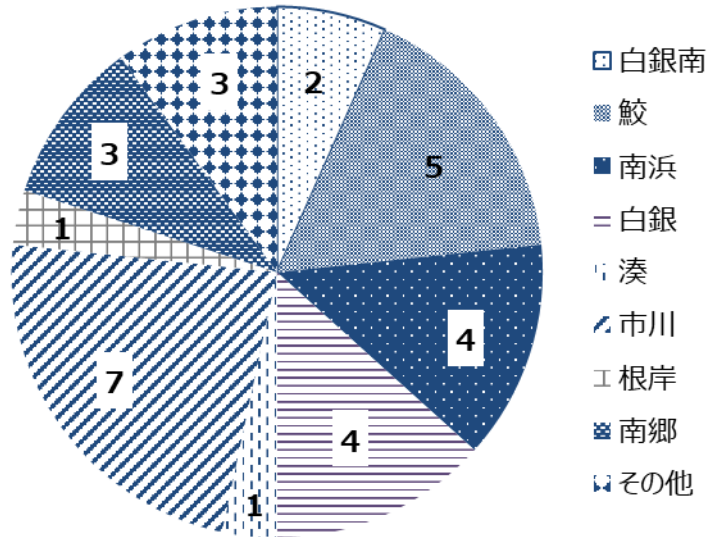
5 閉会

第 1 回 住み慣れた地域での生活を考えるワークショップ アンケート集計結果

- 1. 実施日 令和元年 11 月 17 日 (日)
- 2. 対象地区 白銀南、鮫、南浜、白銀、湊、市川、根岸、南郷
- 3. 配布数 47 枚 ※当日の参加者数 (学生 17 人、地域関係者 30 人)
- 4. 回収数 44 枚 ※回収率 93.6% (学生 17 人、地域関係者 27 人)

【地域住民】 あなたは、どちらの地区にお住まいですか。

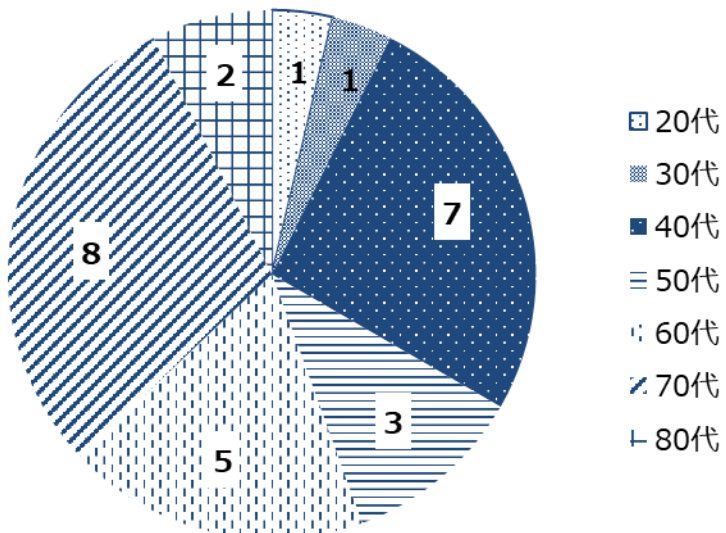
| 地区名 | 人数 |
|-----|------|
| 白銀南 | 2 人 |
| 鮫 | 5 人 |
| 南浜 | 4 人 |
| 白銀 | 4 人 |
| 湊 | 1 人 |
| 市川 | 7 人 |
| 根岸 | 1 人 |
| 南郷 | 3 人 |
| その他 | 3 人 |
| 計 | 30 人 |



※複数回答があったため、実数と一致しない。

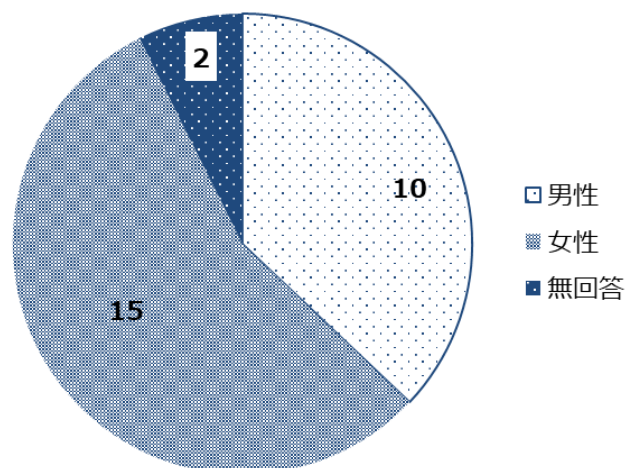
【地域住民】 あなたは、何歳ですか。

| 年代 | 人数 |
|--------|------|
| 10 代 | 0 人 |
| 20 代 | 1 人 |
| 30 代 | 1 人 |
| 40 代 | 7 人 |
| 50 代 | 3 人 |
| 60 代 | 5 人 |
| 70 代 | 8 人 |
| 80 代 | 2 人 |
| 90 歳以上 | 0 人 |
| 計 | 27 人 |



【地域住民】 あなたの性別を教えてください。

| 性別 | 人数 |
|-----|-----|
| 男性 | 10人 |
| 女性 | 15人 |
| 無回答 | 2人 |
| 計 | 27人 |



【地域住民】 あなたが地域で行っている活動のうち最も長い活動を教えてください。

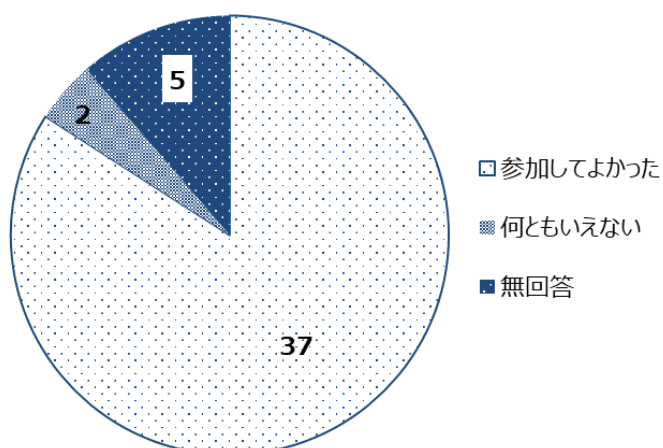
| 活動内容 | ～3年 | 4～5年 | 6～10年 | 11～19年 | 20年以上 | 無回答 | 計 |
|--------|-----|------|-------|--------|-------|-----|-----|
| 民生委員 | 1人 | 1人 | 3人 | | 1人 | 1人 | 7人 |
| 町内会役員 | | 1人 | 1人 | | 1人 | | 3人 |
| 老人クラブ | | | | | 2人 | | 2人 |
| 福祉協力員 | | | | | 1人 | | 1人 |
| 子育てサロン | | | 1人 | | | | 1人 |
| 市民活動 | | | 1人 | | | | 1人 |
| 地域見守り隊 | | 1人 | | | | | 1人 |
| 計 | 1人 | 3人 | 6人 | — | 5人 | 1人 | 16人 |

複数回答があったため、実数と一致しない。

【共通】 ワークショップに参加した感想を教えてください。

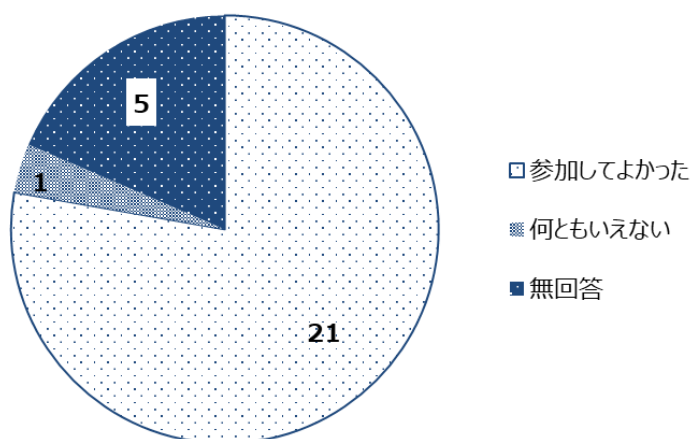
(1) 全体

| | 人数 |
|-------------|-----|
| 参加してよかった | 37人 |
| 何ともいえない | 2人 |
| 参加する必要はなかった | 0人 |
| 無回答 | 5人 |
| 計 | 44人 |



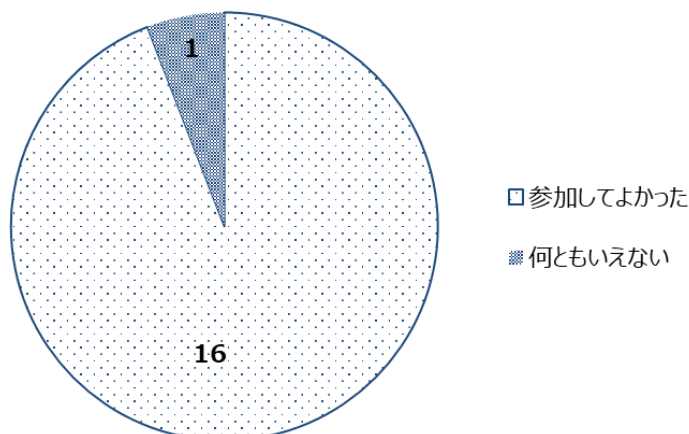
(2) 地域住民のみ

| 人数 | |
|-------------|-----|
| 参加してよかった | 21人 |
| 何ともいえない | 1人 |
| 参加する必要はなかった | 0人 |
| 無回答 | 5人 |
| 計 | 27人 |



(3) 学生のみ

| 人数 | |
|-------------|-----|
| 参加してよかった | 16人 |
| 何ともいえない | 1人 |
| 参加する必要はなかった | 0人 |
| 無回答 | 0人 |
| 計 | 17人 |



(4) 自由記述

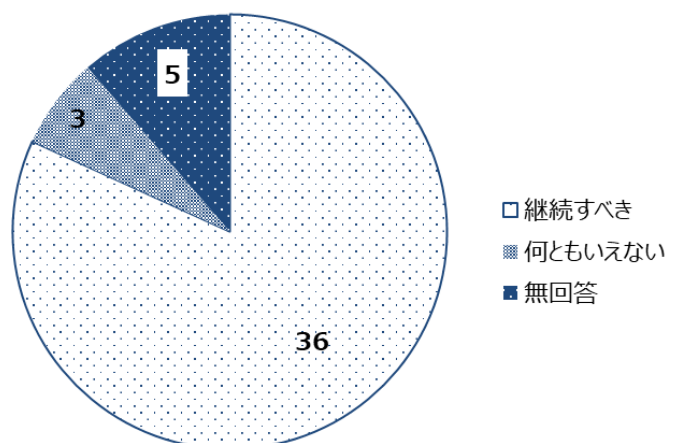
| 参加してよかった | |
|----------|--|
| 地域住民 | <ul style="list-style-type: none"> ○他地区のことをいろいろ聞いた。 ○他地区の悩みを聞くことができ、解決策を見出すことができた。 ○各地域の色々なお話、現状を聞くことができ大変良かった。 ○様々な意見を聞くことができ良かった。他の地区の現状も知ることができた。 ○どの地区もほとんど同じような課題を抱えているんだなということがわかった。 ○地域のことを改めて知る機会になった。住民の方の話をじっくり聞いた。 ○色々な意見を聞けるから。 ○色々な年代の方々と意見交換ができたこと。 ○地域の良いポイント、課題となるポイントを様々な目から見て確認することができた。 ○地域住民の方、民生委員の方と直接話を聞ける貴重な機会だった。八戸市の地域課題が勉強になった。 ○地区の歴史や特色を住民の方から教えていただいた。実際に聞くとよくわかりました。実感しました。 ○住んでいる地域の見直しができる良かった。 |

| | |
|---------|--|
| 地域住民 | <p>○各グループの課題や問題を聞き、自分の地区の改善策等に活用・利用できるメリットあり。</p> <p>○学生たちと接することがないので、とても</p> <p>○交流の機会となり、とても良かったです。</p> <p>○地域交流、新たな資源の再発見となった。</p> <p>○楽しかったが、地域課題の解決につながるかというと、ちょっと。</p> |
| 学生 | <p>○自分の知らない地域の現状を知る機会になったので為になった。</p> <p>○南浜地区での取り組みなど新しいことを知れた。</p> <p>○自分の知らない地域のことが知れたし、知らない人やこの地域の人と関わられたのでよかった。</p> <p>○ニーズがたくさんあり、改善点を見つけることができた。</p> <p>○たくさんの意見や考えが聞けるので、その地域のニーズや抱える課題がわかった。</p> <p>○いろんな人と交流ができたし、たくさんためになる話が聞けたから。</p> <p>○こういった会でないと聞けないお話が聞けてためになりました。</p> <p>○自分が住んだことのない地域のことを知ることができた。</p> <p>○様々な地域、年代の方と交流できてよかったと思う。</p> <p>○八戸市の知らない地域について知ることができました。</p> <p>○隣の地区の現状を詳しく知ることができたから。</p> <p>○八戸市の色々なことを聞くことができる。</p> <p>○知らない地域の良いところを聞いて、今まで知らなかった名産品や観光地を知る機会になった。</p> |
| 何とも言えない | |
| 学生 | <p>○その地域の良さ、残念なところが分かった</p> |

【共通】 ワークショップは今後も継続すべきだと思いますか。

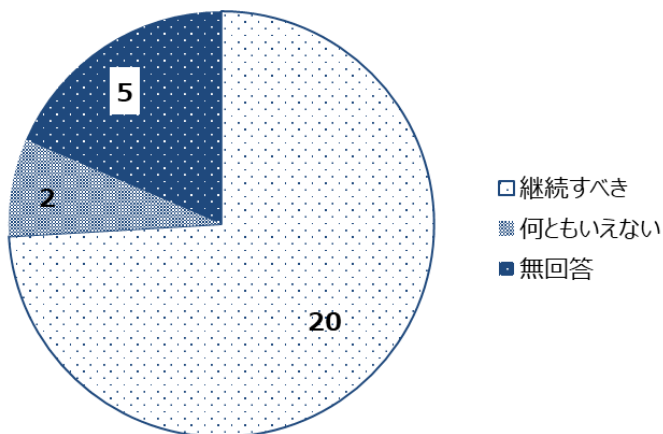
(1) 全体

| 人数 | |
|-----------|-----|
| 継続すべき | 36人 |
| 何ともいえない | 3人 |
| 継続する必要はない | 0人 |
| 無回答 | 5人 |
| 計 | 44人 |



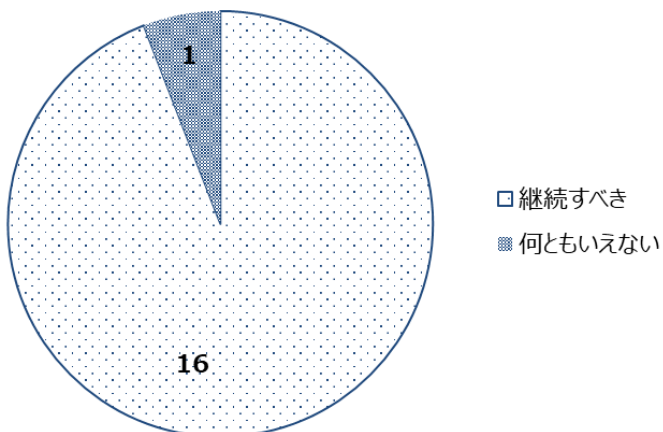
(2) 地域住民のみ

| 人数 | |
|-----------|-----|
| 継続すべき | 20人 |
| 何ともいえない | 2人 |
| 継続する必要はない | 0人 |
| 無回答 | 5人 |
| 計 | 27人 |



(3) 学生のみ

| 人数 | |
|-----------|-----|
| 継続すべき | 16人 |
| 何ともいえない | 1人 |
| 継続する必要はない | 0人 |
| 無回答 | 0人 |
| 計 | 17人 |



(4) 自由記述

| 継続すべき | |
|-------|---|
| 地域住民 | <p>○色々な意見を聞けるから。</p> <p>○今後も継続して、進展につなげていくことを望みます。</p> <p>○地域の改善面・良い所がくっきりと、はっきりとしてくる。市民の意識も高まると思う。</p> <p>○住民の話を聞くいい機会となっていると感じた。</p> <p>○若い方、高齢の方との交流の場として良い。</p> <p>○地域ごとの情報交換は必要だと思います。</p> <p>○初めての参加でしたが、まだ体験していない方々のためにも続けたほうが良いと思う。</p> <p>○ワークショップで協議等を通じて検討しても問題解決に至らないが、多くの意見や質問があり参考になる。</p> <p>○初回開催してからの経過や新たな課題を確認できるから。</p> <p>○経年によって違った課題が見えてくることもあるし、解決した課題もわかると思うので…。</p> |

| | |
|---------|--|
| 学生 | <p>○話し合う機会は大事だと思ったため。</p> <p>○ワークショップをすることで、みんなが話し合っって良いこと・悪いこと、色々な意見がでるので、悪いことは改善していけばいいと思う。</p> <p>○様々な改善点が見つかるので、継続すべきだと思う。</p> <p>○定期的に行うことで、そのたびに課題などが出てくると思う。</p> <p>○良いアイデアが出るかもしれないから。</p> <p>○まちが良くなると思うので、続けていったほうが良いと感じた。</p> <p>○少しでも改善点を見つけることができれば、地域の活性化につながると思うから。</p> <p>○八戸市全体の活性化、より良く暮らしやすい町を目指していくためには、継続すべきだと思う。</p> <p>○自分にとっても良い経験になるから。</p> <p>○色々な地域の意見を聞けるので、これからもやるべきだと思います。</p> <p>○ふれあいの場が楽しいから。</p> |
| 何ともいえない | |
| 地域住民 | <p><u>○課題はあるが、その後の方法が見つかりにくい。</u></p> |
| 無回答 | |
| 地域住民 | <p>○参加してよかった。</p> |

【共通】 ワークショップの改善点があれば教えてください。

| | |
|------|--|
| 地域住民 | <p>○それこそ、参加者が増えるといいなと思います。</p> <p><u>○地域住民参加の促し。</u></p> <p><u>○周知の方法。案内の時期。</u></p> <p>○このワークショップの内容がどこに行って、活かされるのか。活かしてほしいです。</p> <p>○特にないが、続けていくことで改善点が見つかる。</p> <p>○ないです。とても有意義でした。</p> <p>○たくさんの意見が出てよかった。<u>まとめの時間に手伝っていただければよかったかもしれない。</u></p> <p><u>○参加する人の移動手段がない場合についてどうするか。</u></p> <p><u>○地区ごとに地元（公民館等）で開催できれば、住民の方も多く参加できると思います。</u></p> <p><u>○学生さんより「市川ってどこ？」との発言→八戸の地図があれば…</u></p> <p><u>○話し合いの効果を密にするためにも、事前に資料を送ってもらい、目を通してもらったほうが良いと思う。</u></p> |
| 学生 | <p>○楽しく話し合えたので、このままで良いと思います。</p> <p><u>○高校生などの年代の人も話してくれば、より良いものができると思う。</u></p> <p><u>○テーブルが広すぎて、ふせんを貼ったり、字を書いたりするのがやりずらかった。</u></p> <p><u>○人数が少し多いように感じる。話すタイミングをのがす。</u></p> |

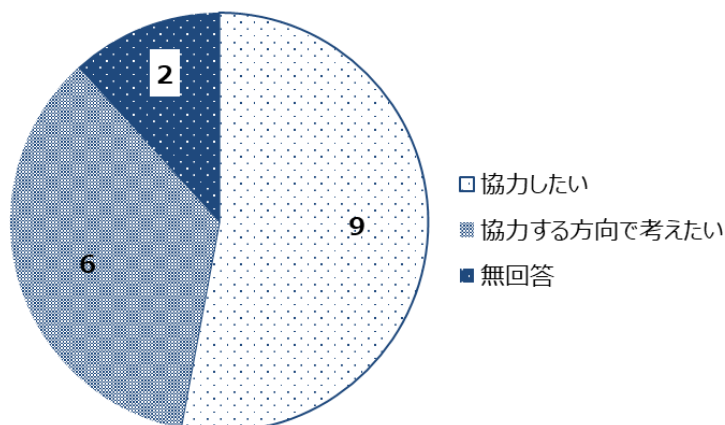
【地域住民】 学生が参加したことについて思ったことを教えてください。

【学生】 地域の方と接して思ったことを教えてください。

| | |
|------|--|
| 地域住民 | <ul style="list-style-type: none">○良かったと思います (4人)○学生が入る！というのも、とても良かったと思います。若い頃より考える機会があるという点も良いです。○自分よりワークショップに慣れていて助けられました。○とてもよかった。上手にまとめて発表していただけた。ありがとうございました。○普段、年寄りの集まりでつまらないから。○普段、若い人と話す機会がないので新鮮。○若い方がいると、雰囲気が良い。○パワーがあり、光っているといます。○すごくいい経験になるといます。○これからの日本を背負っていく立場であることから、いろんな人との関わりを持つことにより視野を広めてほしいと思った。○若い方々の意見を高齢者も聞く機会が持てて良かった。○新しい考え方が出て非常に良い。○若い人の意見はいい考えをもっているし、毎回参加させていただきたいといます。○若い人には若い人の感性が、見え方が違うと思うので良いことだと思う。○地域で困っていることについて、若い人に対策を考えてもらって「頼もしく思った」と地域の方が話していました。○良かったと思います。参加した学生の意見など知りたいと思いました。○<u>学生さんの視点でもっと発言してもいいのではと思いました(遠慮しているのかな)。</u> |
| 学生 | <ul style="list-style-type: none">○自分だけだと知らなかったことを知れたのがとても良かった。○今日は、根岸や南郷のグループで、自分はその地域を初めて知って、色々知れたので良かったです。○いろいろ問題を抱えていた。○自分が知らないことや地域の方の考えることがわかって良かった。○自分がわからなかったことが知れたので、良い機会だった。○自分が知らなかったことを知れました。○リアルな話を聞くことができて良かった。○自分が住んでいる地域の良いところをちゃんと把握していると思った。○上の年代の人たちと会話をすると意外と楽しかったり、知識も増えるので良かった。○地域同士の仲の良さ。○皆さん優しい方でした。○地区ならではの意見が聞けてとても勉強になった。マイナスな面が多く挙げられたが、プラス面が多くなり、より良い暮らしができるよう改善に繋がっていけば、さらに良いのではないかと思った。 |

【学生】 ワークショップに参加した地域の方々は様々な活動をしています。
もし、地域の方から「協力してほしい」と言われたら、どう思いますか。

| 人数 | |
|-------------|-----|
| 協力したい | 9人 |
| 協力する方向で考えたい | 6人 |
| 協力は難しい | 0人 |
| 何ともいえない | 0人 |
| 無回答 | 2人 |
| 計 | 17人 |



■自由記述

| |
|---|
| 協力したい |
| ○駐車がわからなかった。 ○交通費が出るとありがたいです(2人) ○その場所までは連れて行ってほしいです... ○駐車場 |
| 協力する方向で考えたい |
| ○交通費が出て欲しい(3人) |

【共通】 その他、ご意見・ご感想がありましたら、お聞かせください。

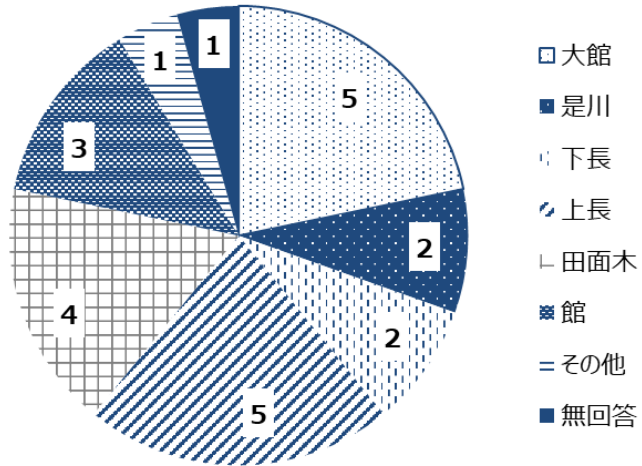
| | |
|------|---|
| 地域住民 | ○バスの利便性が悪いという意見が多くあった。朝夕の通勤・通学時間帯は大型バス(現在のバス)が良いが、高齢者が必要とする時間帯はマイクロバスで本数を増やす方法はないか。 ○様々な地区の進展につながるといいなと思います。 ○八戸市の実態、将来の予測として、もっともっと詳細が知りたかった。 ○お疲れさまでした。 ○継続することに意義あり。 ○役所の方の説明が早口で、最初の説明がわかりにくかった。 |
| 学生 | ○自分は埼玉から来ていて、知らないことが多かったので、今日参加して多くのことを知れてよかったです。 ○お菓子、うれしいです。 |

第 2 回 住み慣れた地域での生活を考えるワークショップ アンケート集計結果

- 1. 実施日 令和元年 12 月 14 日 (土)
- 2. 対象地区 大館、東、是川、中居林、下長、上長、田面木、館、豊崎
- 3. 配布数 38 枚 ※当日の参加者数 (学生 9 人、地域関係者 29 人)
- 4. 回収数 31 枚 ※回収率 81.6% (学生 8 人、地域関係者 23 人)

【地域住民】 あなたは、どちらの地区にお住まいですか。

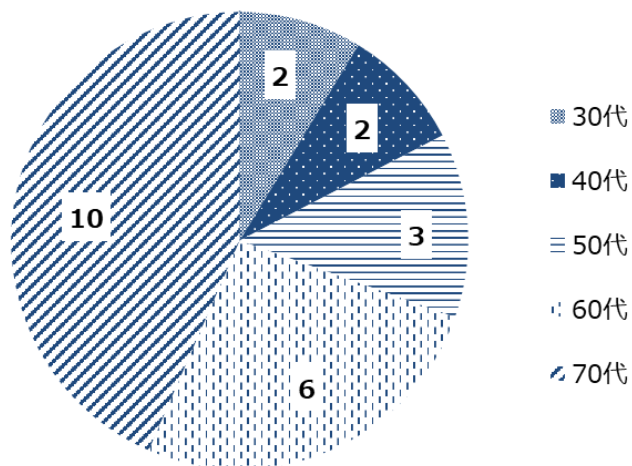
| 地区名 | 人数 |
|-----|------|
| 大館 | 5 人 |
| 是川 | 2 人 |
| 下長 | 2 人 |
| 上長 | 5 人 |
| 田面木 | 4 人 |
| 館 | 3 人 |
| その他 | 1 人 |
| 無回答 | 1 人 |
| 計 | 23 人 |



※その他については、おいらせ町との回答。

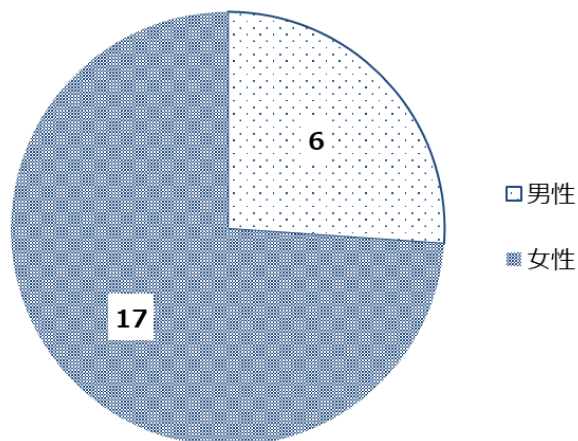
【地域住民】 あなたは、何歳ですか。

| 年代 | 人数 |
|--------|------|
| 10 代 | 0 人 |
| 20 代 | 0 人 |
| 30 代 | 2 人 |
| 40 代 | 2 人 |
| 50 代 | 3 人 |
| 60 代 | 6 人 |
| 70 代 | 10 人 |
| 80 代 | 0 人 |
| 90 歳以上 | 0 人 |
| 計 | 23 人 |



【地域住民】 あなたの性別を教えてください。

| 性別 | 人数 |
|----|-----|
| 男性 | 6人 |
| 女性 | 17人 |
| 計 | 23人 |



【地域住民】 あなたが地域で行っている活動のうち最も長い活動を教えてください。

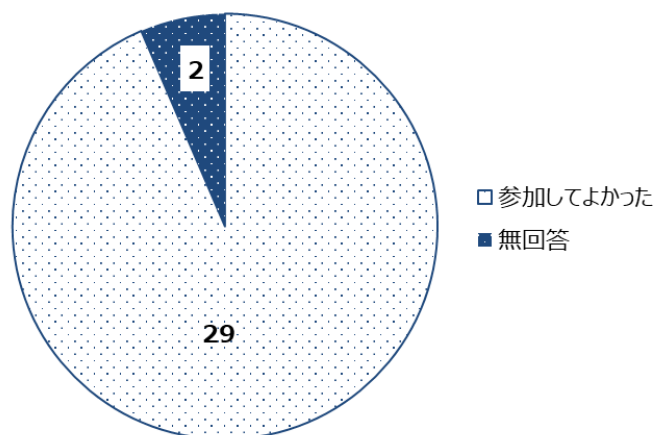
| 活動内容 | ～3年 | 4～5年 | 6～10年 | 11～19年 | 20年以上 | 無回答 | 計 |
|-----------|-----|------|-------|--------|-------|-----|-----|
| 老人クラブ | | | 1人 | 1人 | | | 2人 |
| 町内会役員 | | | | | 1人 | | 1人 |
| 民生委員 | 2人 | | 3人 | 4人 | 1人 | | 10人 |
| 保健推進員 | | | 1人 | | | 1人 | 2人 |
| ほっとサロン | | | | 1人 | | | 1人 |
| 地区社協 | | | | 1人 | | | 1人 |
| ほのぼの交流協力員 | | | | 1人 | | | 1人 |
| 計 | 2人 | | 5人 | 8人 | 2人 | 1人 | 18人 |

複数回答があったため、実数と一致しない。

【共通】 ワークショップに参加した感想を教えてください。

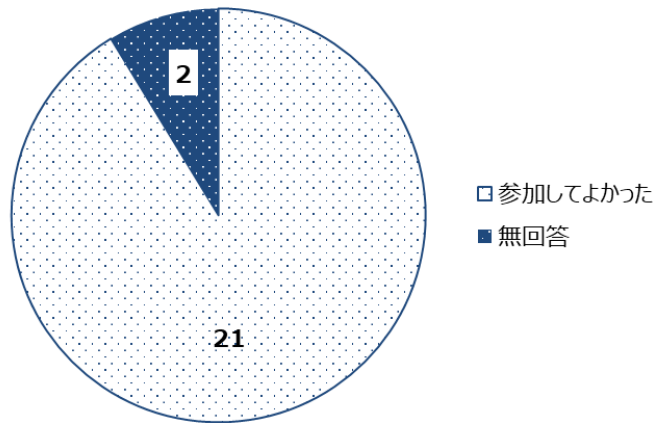
(1) 全体

| | 人数 |
|-------------|-----|
| 参加してよかった | 29人 |
| 何ともいえない | 0人 |
| 参加する必要はなかった | 0人 |
| 無回答 | 2人 |
| 計 | 31人 |



(2) 地域住民のみ

| | 人数 |
|-------------|-----|
| 参加してよかった | 21人 |
| 何ともいえない | 0人 |
| 参加する必要はなかった | 0人 |
| 無回答 | 2人 |
| 計 | 23人 |



(3) 学生のみ

○全員「参加してよかった」との回答であったため、表及びグラフは省略。

(4) 自由記述

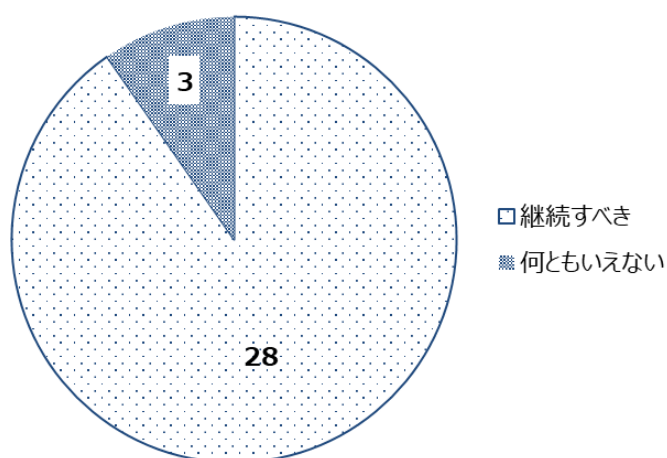
| 参加してよかった | |
|----------|---|
| 地域住民 | <ul style="list-style-type: none"> ○他地区の問題点は当地区の長所（解決済み）がわかった！ ○いろいろ他の地区も知ることができたから。 ○大学生の皆さん方、そして別な地区の皆さんの考えを知ること、とても参考になりました。 ○若い人の意見を聞くことができた。 ○こういったことを行っていくんだと知ったこと。 ○地域について、良い面も悪い面も考えることができた。 ○地域のことで、改めて知ることができることもあり、勉強になりました。 ○初めての参加なので、参加してよかったです。 ○他の地域の方との交流があり良かった。 ○若い世代の方々の交流が良かった。他地区のサンプルを聞いてよかった。 ○<u>買物弱者、見て買い物したい（スーパー）、移動（バス、大型車）、町内買物ツアー</u> ○とても勉強になりました。 ○<u>具体案が出た。</u> ○話し合いにより問題点が明確になり、<u>解決策も生まれる。</u> ○ワークショップの言葉自体知らなかったの。 ○各地区どこでも問題があるけど、さまざまな対策は考え、実行しているんだと高齢者も元気に過ごせる。 ○いろんな地区の特色を知ることができた。 ○八戸市の地区特性を知ることができた。 |
| 学生 | <ul style="list-style-type: none"> ○自分の地域に関する知識が増えた。 ○住民が改めて地域の課題を上げたり、逆に強みを引き出せた。 ○他地区の様々な現状を知ることができた。 ○話し合っただけの結果が今後に活かされるから。 ○いろんな地区の話が聞けた。 |

| | |
|------|---|
| 学生 | ○地域のことを話しながら、集まる場所となっている。 ○町のことがよくわかった。 ○知らない地域のことも知れるため。 |
| 無回答 | |
| 地域住民 | ○地域での生活の向上のために役立てることができた（他の地区の意見も参考にできた）。 |

【共通】 ワークショップは今後も継続すべきだと思いますか。

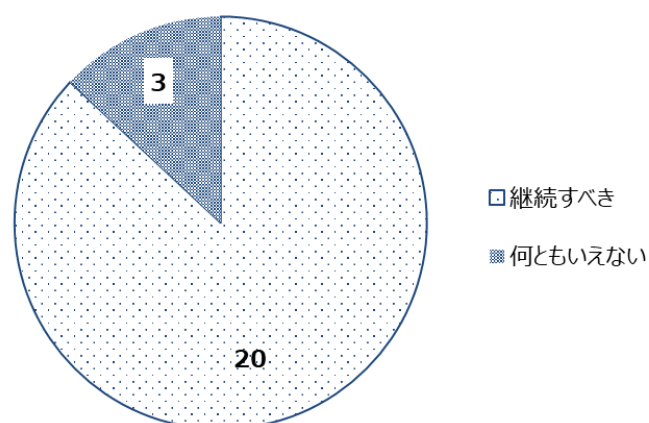
(1) 全体

| | 人数 |
|-----------|------|
| 継続すべき | 28 人 |
| 何ともいえない | 3 人 |
| 継続する必要はない | 0 人 |
| 無回答 | 0 人 |
| 計 | 23 人 |



(2) 地域住民のみ

| | 人数 |
|-----------|------|
| 継続すべき | 20 人 |
| 何ともいえない | 3 人 |
| 継続する必要はない | 0 人 |
| 無回答 | 0 人 |
| 計 | 23 人 |



(3) 学生のみ

○全員「参加してよかった」との回答であったため、表及びグラフは省略。

(4) 自由記述

| 継続すべき | |
|---------|---|
| 地域住民 | <ul style="list-style-type: none"> ○自分の住む地域の悪い点を見るだけでなく、良い点、長所も冷静に見えた！ ○やはり何事も続けるということはよいことだと思います。 ○他地区の発表も参考になった。 ○様々な意見を聞くことができて良かった。 ○他地区を知ることの良いことです。 ○新しい気づきになる。 ○常に新しい問題点を把握すべき。 ○今回の問題をどのように解決していくか、継続してみたい。 ○他の地域関係者も出てほしいと感じた（東地区も）。 ○シニアに特化した問題のため。 ○参加メンバー（年齢・肩書）を変えて。 ○問題解決法を学べた。 ○みんなの知恵を出し合って今後どうすれば住みやすくなるのか考える機会を持つことができた。 ○町内会等でも話し合いをしている。 ○年齢を超えての意見交換。 ○老若男女、幅広い世代が地域のことを考える場面づくりが必要。 |
| 学生 | <ul style="list-style-type: none"> ○自分の目線では見えない、感じれない地域の実態を知れたため。 ○楽しいから。 ○地域課題が大きく視点化され、ニーズを考えることができ、より良い生活に向け考えることができています。 ○今後さらに良くなればいいと感じたから。 ○その度、地域の課題が出るため、それをシェアする必要がある。 |
| 何ともいえない | |
| 地域住民 | <ul style="list-style-type: none"> ○民生委員等の参加が少ない。 ○もっと住民参加者が多いと良かった。 |

【共通】 ワークショップの改善点があれば教えてください。

| | |
|------|--|
| 地域住民 | <ul style="list-style-type: none"> ○今のままでよろしいと思います。 ○改善しなくても良いと思います。 ○今のままで良い。 ○KJ法は良いのだが、もう少しやりくちを変えたほうが良い。少々まどろっこしい気もする。 ○他の地域の方との交流の場もほしい。 ○時間が長かった。 ○去年よりも内容・指示がわかりやすかった。 ○参加者の方が限られているよう。周知が必要。 ○飲み物不要である。 |
| 学生 | <ul style="list-style-type: none"> ○知らない人同士で名前を呼び合えるように名札があったほうが良いと思った。 ○時間が少し押してしまうから短めで。 |

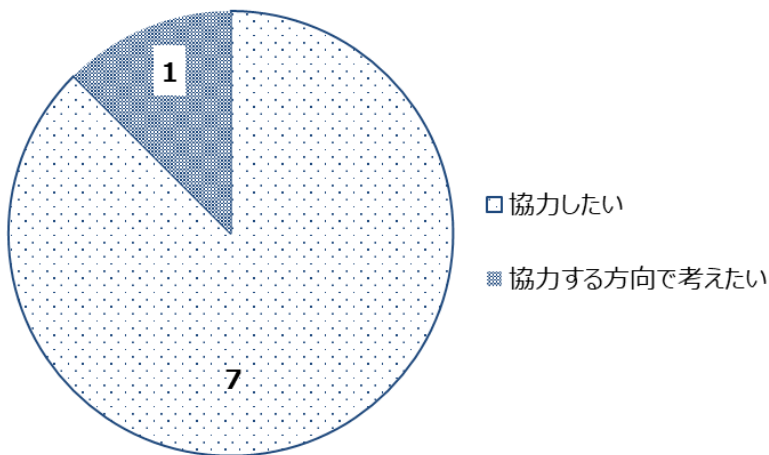
【地域住民】 学生が参加したことについて思ったことを教えてください。

【学生】 地域の方と接して思ったことを教えてください。

| | |
|------|---|
| 地域住民 | <ul style="list-style-type: none"> ○良い。 ○良かったと思います。 ○学生さんたち参加するのはとても良いと思います。 ○感心するほど真面目です。将来明るいなー。 ○大変心強くてのもしいです。 ○地域の実情を知ることができた。かわいがられていたので、場が和んだ。 ○客観的に見てくれたり、作業などしてくれて良かった。 ○まとめ方が慣れていてよかった。 ○若い方の意見が聞けて良かった。 ○新鮮な意見が聞けてよかった。 ○フレッシュがあり良かった。 ○学生のフレッシュな意見が良かった。未来につながると思います。 ○学生さんの若い声、発表力、素晴らしい。 ○若い方の考えも聞けたのでよかった。 ○若い人の参加とてもいいなと思った。 ○全く別の視点からの意見が聞けた。 ○新しい考え方が参考になった。 ○20代の考え方を聞けることが財産になった。 ○若い力の強さに感謝。 ○若い方のパワーを得ることができて良かったと思う。 ○学生でも八戸市（出身）の方良いと思う。 ○この企画において最も良い点です。 |
| 学生 | <ul style="list-style-type: none"> ○非常に楽しかった。自分の中での常識が違うことについて驚いてしまった。 ○意外と町内会の問題面は、どこも同じだなと思った。 ○自分が住んでいる地域の実態を把握できていると思った。当たり前か。 ○とても楽しい生活の話やニーズを聞けるので、とても良い経験ができた。 ○様々なことを考えて生活していると感じた。 |

【学生】 ワークショップに参加した地域の方々には様々な活動をしています。もし、地域の方から「協力してほしい」と言われたら、どう思いますか。

| 人数 | |
|-------------|----|
| 協力したい | 7人 |
| 協力する方向で考えたい | 1人 |
| 協力は難しい | 0人 |
| 何ともいえない | 0人 |
| 無回答 | 0人 |
| 計 | 8人 |



■自由記述

| 協力したい |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">○<u>交通費</u>や事前に知識を手に入れることができるが良い。○<u>交通費</u>が出たら。 |

【共通】 その他、ご意見・ご感想がありましたら、お聞かせください。

| | |
|------|--|
| 地域住民 | <ul style="list-style-type: none">○また参加してみたいと思います。○<u>ワークショップには、社協職員や市民連携推進課の地域担当職員なども声がけしても良いかと思えます。</u>○もっと深く！もっと身近に！もっとわかりやすく！○来年も参加したいです。有効な時間楽しかったです。○市の方に報告し、より良い地域になることを願う。 |
|------|--|

地域密着ワークショップの実施状況及び評価について

I 目的

- ・ 地域を限定することで地区ワークショップよりも具体的な地域課題に踏み込む。
- ・ 学生が当該地域を理解できる企画とする。

II 開催日時

第1回 令和元年11月18日(月) 13:30~15:00

第2回 令和元年12月16日(月) 13:30~15:00

III 開催場所

内舟渡集会所

IV 主催

八戸市

V 開催協力

八戸学院大学(小柳研究室)

株式会社池田介護研究所

VI プログラム

《第1回》テーマ：地域を理解するために過去に焦点をあてて話し合う。

目 的：回想法の手法を用いて参加者から話を引き出し、地域のイメージを共有する。

| 時間 | 項目 | 内容 |
|-------|---------|--|
| 13:00 | 受付 | |
| 13:30 | 開会 | ・ 趣旨説明と当日の流れの確認 |
| 13:35 | アイスブレイク | |
| 13:45 | ワークショップ | ・ 内舟渡町内の過去に関する資料を示しながら、住民の当時の暮らしや地域の状況を聞きだす。 ・ 必要に応じて学生も質問や感想を言う。 |
| 15:00 | 閉会 | |

《第2回》テーマ：地域の現在と未来について話し合う。

目 的：第1回で共有した情報を元に地域課題について話し合う。

| 時間 | 項目 | 対応者 |
|-------|---------|--|
| 13:00 | 受付 | <ul style="list-style-type: none"> 趣旨説明と当日の流れの確認 前回の振り返り 住民から「困っている」「こうだったらいいな」「昔やっていたアレいいな」という話を聞きだし、対応方法のアイデアをまとめる。 |
| 13:30 | 開会 | |
| 13:40 | ワークショップ | |
| 15:00 | 閉会 | |

VII 実施状況

1 参加者

| | 住民 | 学生 |
|-----|----|----|
| 第1回 | 5名 | 5名 |
| 第2回 | 5名 | 6名 |

2 会場の様子

※ 写真参照

3 挙げた課題と意見

| No | 課題 | 意見 |
|----|--|--|
| 1 | 一人暮らしなので自宅で倒れた時が心配。 | 通報装置と駆けつける人員の充実が必要。 |
| 2 | 夜間の支援が受けにくく心配。 | |
| 3 | 草取り、電球の交換など、ちょっとした人手が必要な時に頼める人がいない。 | 無料又は低額で頼めるところがあれば良い。 |
| 4 | 雪かきが大変。特に生活で使う私道やあぜ道には除雪が入らないので困っている。 | |
| 5 | 人が集まる行事が少ない。 | |
| 6 | 家族はいるが別居のため交流頻度が減っている。 | |
| 7 | 足腰が弱ったら買物に行けるか心配。 | 配達、移動販売の充実が必要。また、一部のスーパーが送迎バスを出しているという話を聞いたのでこの地域にもあれば良いと思う。 |
| 8 | 介護にかかる費用がよくわからず、心配の種になっている。もっと情報提供が必要。 | |

VII 評価（案）

1 運営

- ・ 株式会社池田介護研究所の協力により会場及び参加者確保にかかる主催者の負担が軽減された。
- ・ 進行は市職員が担ったが、探りながらの対応となったためノウハウの蓄積が必要。

2 目的の達成度

- ・ 地域課題を抽出することができたが、地区ワークショップで挙げたものと類似している。
- ・ 第1回目に回想法的な手法を取り入れたことにより、学生が当該地域に対する認識を深めたうえで話し合うことができた。

3 今後の対応についての論点

【論点1】地区ワークショップ実施の必要性和継続の可否は？

- ⇒ 課題解決のために行動するところまで到達すれば独自性が鮮明になる可能性はある。
- ⇒ 取組を継続する場合はマンパワー確保の課題がある（少なくとも協力者が必要）。

【論点2】仮に取組を続ける場合の方策（改善策や広め方等）は？

- ⇒ 実施地区選定方法と協力者確保策の検討が必要。

【論点3】今回のように学生が地域について理解するプログラムは必要か否か？手段は適切か？

- ⇒ 学生と住民の相互理解に一定の成果があったと思われるが、十分かどうかは不明。
- ⇒ ワークショップ内で対応する場合は、企画が長丁場になるデメリットあり。